

信号機に関するQ&A

- Q1 信号機の種類は？
- Q2 時差式信号機って何？
- Q3 歩車分離式信号機って何？
- Q4 音が出る信号機って何？
- Q5 停電したときは？
- ※ 交通規制課からのお願い



Q1 信号機の種類は？

A 信号機の種類は、大きく分けると

定周期式信号機

半感応式信号機

押ボタン式信号機

の3つに分類されます。



定周期式信号機とは. . .

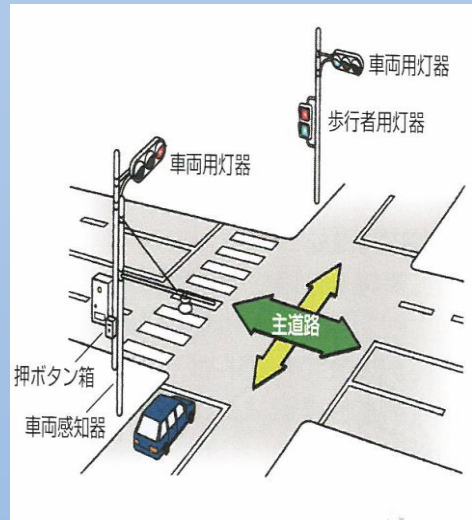
あらかじめ、信号機の青色・黄色・赤色が表示される秒数を時間帯や曜日ごとに設定しておき、時間や曜日に合わせて、自動的に動作する一般的な信号機です。

半感応式信号機とは. . .

交差点に設置された車両感知器で自動車などが停止したことを感知して、信号機が動作するものです。

通常は、交差点の主たる道路側を青信号で表示し、交通量の少ない従道路側で自動車などを感知すると、従道路側を青信号に変える仕組みです。

車両感知器は、誤作動を防ぐために、停止線の直前に止まった自動車などを感知するように設置されています。また、バイクの場合は、信号柱に設置された押ボタンを押すことにより信号機が動作します。



出典:公益財団法人日本交通管理技術協会発行「信号機なんでも読本」

押ボタン式信号機とは. . .

横断歩行者が押ボタンを押すことにより、車両用の信号機が赤色に変わるものです。

自動車などの往来が多く、横断歩行者が渡りにくい場所に設置されています。

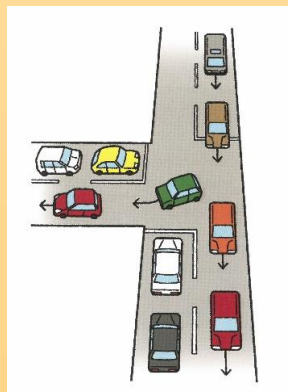


出典:公益財団法人日本交通管理技術協会発行「信号機なんでも読本」

Q2 時差式信号機って何？

A 通常、同一道路の順行側と対向側の青信号の時間は同じですが、時差式信号機は、順行側の青信号の時間を短くし、対向側の青信号を延ばすことで、対向側の車両の流れを確保するものです。

主に丁字路交差点に設置され、道幅が狭く、右折車両が対向直進車両により右折しにくい交差点に設置しています。

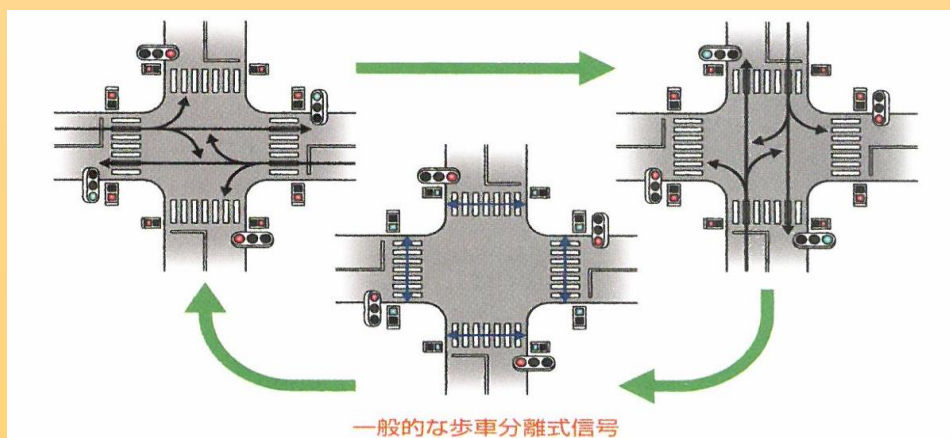


出典：公益財団法人日本交通管理技術協会発行「信号機なんでも読本」

Q3 歩車分離式信号機って何？

A 歩行者と車両の流れを区別して、歩行者の安全な横断を確保するものです。

特に、車両が右左折時、歩行者に衝突する事故が多い交差点に設置しています。



出典：公益財団法人日本交通管理技術協会発行「信号機なんでも読本」

Q4 音が出る信号機って何？

A 視覚障害者用付加装置が設置されている信号機です。

歩行者用信号機が青色になると、スピーカーから

「ピヨピヨ」

「カッコー」

の音が流れ、青色になったことを知らせます。

この他にも、「信号が青になりました。」と教えてくれる信号機もあります。



出典：公益財団法人日本交通管理技術協会発行「信号機なんでも読本」

Q5 停電したときは？

A 県内の主要な交差点には、発電機やバッテリーが設置されており、停電時には自動的に作動して信号機に電気を供給するため、それらの信号機は表示が消えません。

お願い

信号機設置の交差点では、より注意が必要です!

考え事をしたり、体調不良だったりすると、信号を見落としがちです。

ドライバーも歩行者も、通行する交差点に信号機が設置されているかよく確認して下さい。

また、信号灯火の赤色は、「進行（横断）してはならない」であり、必ず止まらなければなりません。青色は、

「進行することができる」であり、青色であっても優先意識を持たず、他の自動車や歩行者が周りにいないかどうか確認することが大切です。

